

平成23年11月10日

事業者各位

富山労働局長

各労働基準監督署長

(公印省略)

## 第71回全国産業安全衛生大会への参加について

～51年ぶりの富山での開催に向けて～

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、労働行政の推進にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、富山県における労働災害は、関係者のたゆまぬご努力により、長期的には減少傾向にありましたが、本年は10月末現在で増加に転じ、死亡災害については年によって増減を繰り返し、未だ減少傾向が定着した状況にはありません。

労働災害は、その多くが、被災した本人はもとよりその家族の方々などの人生を大きく変えてしまう凄惨なもので、取り返しのつかないものであることは言うまでもありません。

しかも、労働災害は、事前の準備や対策をしていれば「防ぐことができた」ものも多くあり、事業場にとっても企業の理念に沿えなかったという、言わば痛恨の極みの事態であると考えます。

近年、事業場によっては、無災害であることも珍しくありませんが、そのような職場であっても「安全な職場」であることを意味するものではなく、潜在的な危険性又は有害性が現に存在しております。

この内在する労働災害の潜在的な危険性や有害性を1つ1つ取り除き、着実に減少させていくことが必要であります。

そのためには、経営トップ自らが先頭に立ち、労働安全衛生マネジメントシステム、リスクアセスメント等の実施により、安全衛生管理体制の確立等に取り組まれることが求められております。

このような中、来る平成24年10月24日(水)から26日(金)までの3日間にわたって「第71回全国産業安全衛生大会」が地元富山市で開催されます。

本大会では、労働安全衛生マネジメントシステム、リスクアセスメント、職場のメンタルヘルス対策などのテーマのもと、取組事例、研究発表、講演等の最新の安全衛生情報のプログラムが多数用意されており、事業場における安全衛生水準の向上に大いに役立つものであります。

全国の先進的な取組等を吸収し、是非とも培われた安全衛生活動を未来につなげていただきたいと存じます。どうか51年ぶりの富山での開催に際し、県内の多くの事業場の経営トップをはじめ安全衛生を担当される方々の本大会へのご参加をお願い申し上げます。